

女と男いきいきネット



ひと ひと
女と男いきいきネットワーク久喜・通信第22号 2015, 2, 5 発行

研修部 学習会



国立女性教育会館での学習会に参加して

居場所がある地域社会づくりを

くきCAP 増田 ともみ

十二月六日、青い空と真っ赤なもみじに癒されながら始まった国立女性教育会館での学習会。ボランティアの方の案内のもと、「男女共同参画社会の基礎知識」というテーマのお話を伺いました。

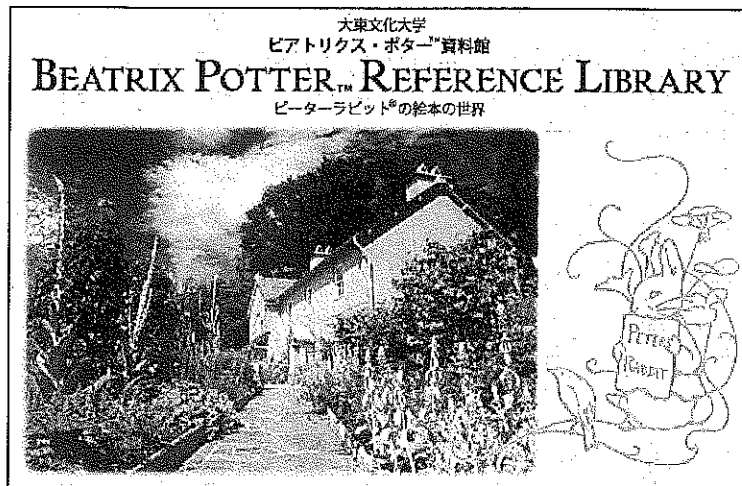
資料を見ると、国連で「女性差別撤廃宣言」が採択されたのは、自分が生まれたころ。会館ができたのは高学年で、「育児休業法」は大学卒業ころか。などと、そこに関わって一歩一歩進めてきた沢山の人の努力とパワーに想いを巡らせながら、『参画』というのは『参加』より政策や方針とか「何かを決めていく過程に主体的に関わる」ということ、『男女共

同参画社会』のイメージは言葉を変えれば、どの人にも「居場所がある地域社会」ということが特に心に残りました。

私の所属する「くきCAP(キャップ)」は子どもの人権と暴力防止の立場から、家族やそれぞれの性、年齢の抱える生きづらさを考えているのですが、男女共同参画の考え方や歩みが、男女の枠だけでなくて、色々な枠や壁を取り払った優しいしなやかな社会を作っていくベースになるよう、もっともって大人は意識していかないと



国立女性教育会館前で記念写真



午後からは、二〇〇六年に開館したビアトリクス・ポターT.M.資料館を見学しました。資料館は、大東文化大学東松山キャンパスに隣接する埼玉県こども動物自然公園の一角にあります。資料館の外観や中庭、そして菜園は、ピーターラビットの産みの親であるビアトリクス・ポターが暮らした英国・湖水地方のヒルトツブ農場を再現したものです。

資料館は、幼児から成人に至る幅広い層の人々にビアトリクスの文学や彼女の「人間と自然と動物の共存」という理念を知ってもらおうという願いから設立されました。彼女の生涯や『ピーターラビットのおはなし』の出版までの経緯をたどるパネル、私家版、原画や直筆の手紙、二十四冊すべての初版本など世界的にも評価の高い貴重な資料が展示されています。

また、彼女は児童文学作家以外でも、生涯を通じて、湖水地方の自然を愛し、保護、保存する活動を続けたことでも知られています。ビアトリクスは、父の友人で、ナショナルトラストの前身「湖水地方防衛協会」の準備を進めていたロズリー牧師に十六歳の時に出会いました。湖水地方の美しい自然を、産業と観光事業から守ることを決意していたロズリー牧師は、ビアトリクスに大きな影響を与えました。ビアトリクスは、環境

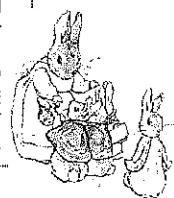
保護団体「ナショナル・トラスト」が設立される前から見守り、最大の協力者となり、保護のために多大な協力を惜しみませんでした。

彼女は六十四歳でナショナル・トラストのメンバーとなり、死後、4300エーカー（約520万坪）の土地と、十五の農場とコテージをナショナルトラストに寄付することを遺言に残し、これを夫のヒーリスが忠実に実行しました。彼もまた死後に、約三十一万坪の土地と六つの農場、家をナショナル・トラストに寄付しました。

資料館は、彼女のその遺志を受け継ぎ、入館料の一〇％をナショナル・トラストに寄付しているとのことでした。



参加者の声



※男女共同参画に関する歴史を系統だてて説明してくれましたので、とても勉強になりました。今日学んだことを今後の活動に活かしていきたいと思います。

※データに基づく客観的なお話に、大学生に戻った気分が勉強できました。

※初めての人には良かったと思うが、もう少し地方議会の問題や都議会のセクハラ問題等にも触れて欲しかった。

※こちらの希望のテーマが反映されてなくて残念だった。

※ピーターラビットで有名なビアトリクス・ポターがナショナル・トラストに関わり、自然保護運動に力を注いでいたことを初めて知って感動した。

※資料館は緑に囲まれ、心が癒され日頃のストレスが解消できた。

会員紹介

「不器用ゆえに倍の修業で」

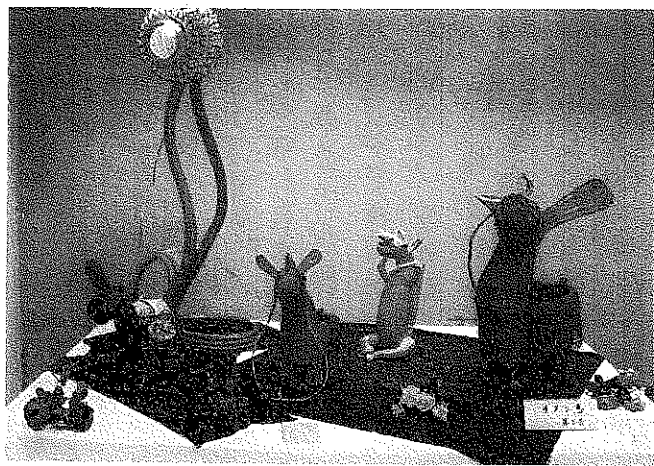
藤工芸（ラタン恵）

鈴木 美恵子

藤は、日本にはなく東南アジア、インドネシア諸島などの熱帯から亜熱帯にかけてジャングルに繁茂するヤシ科の植物で、多くはつる状で長いトゲを持った表皮に包まれ、そのトゲを使って高い樹木にまつわりながら太陽を求めて高く伸びあがるように成長します。木材に比べると、成長は早く遅いものでも十四〜十五年位で用材になります。普及したのは、江戸時代の末期に下級武士が内職として、穀物、たばこ入れを作り始めてからだと言われています。日常的に使用するものとして、小物類、実的なもの等種類が多く、半心、家具類に使用する幼民、中民、太民等が一般的です。私が藤に係わりを持ったのは、自分は元々不器用だったので手に技術を身につけよう

と考えたからです。二十代の頃、大学を出て株式の世界に入り日本橋で株の仕事をしていたのですが、残業があり決算期になるとほとんど毎日、そのうえ給料が安く三年位で退社。その後外資系の会社に入り成績を上げ、グループマネージャーとして何年か在籍。そして、結婚を機に退社し、本屋で大きな熊の絵が目にとまり、この業界の〇〇の先生につき、不器用ゆえに人より倍かかって長い間修業した結果、花器、大きな角テーブル、民を使用した椅子なども作れるようになりしました。そろそろ止めようと思っていた時、免状の対象者先生にならないかと声をかけられ、とりあえずもらっておこうと決心し、免状と看板を取得しました。その後、口コミで名前が広がり、教育委員会から二〜三年、秋は展示会が多く、その年の講座依頼を受けました。毎年、秋は展示会が多く、その一

浦、鷺宮、栗橋、そして私たちの手工芸同好会、川柳、俳句等との合同展示会が総合文化会館で九月に盛大で華やかに開催されます。私自身は、現在イオンモールの羽生、イオン越谷レイクタウン、モラーージュ葛蒲、シダックスのカルチャーセンターで指導しています。地元の公民館でも行っています。また、埼玉県女流工芸作家協会会員としても活動しております。



平和と女性の権利を考える！

オリープの会

関口 はつ子

年に二回ほど「女性」と「平和」をテーマにした学習会を開催しています。駅前のカフェたいむで一〇人前後の参加者でコーヒーとケーキを味わいながら、その時のテーマを決めてわいわいがやがやとやっています。尖閣諸島の問題や従軍慰安婦、集団的自衛権、そして辺野古の問題、何も理解できないうちに時代がすすると戦争への道を突き進みそうな予感と不安…。

七〇年続いた平和は、私たちの世代が大きな犠牲を払い手に入れたものです。私の父は戦争に行き、今のベトナムのあたりまで送ら



れ、食べる物もなくオタマジヤクシを食べようとしたそうです。夫の母は都内大塚駅前の病院で空襲に会い、プロック塀にしがみつきの、火の手が背中まで届き「もうダメだ」と観念した時、奇跡的に助かったと話していました。

沢山の死体の山を観たそうです。戦争とカスリーン台風を経験したため、折々に水と火はこりごりだと話していました。このような経験や戦後女性が歩んできた道のりを子供たちや友人に伝え、改めて「平和」や「女性の権利」について考えるきっかけを作りたいーそんな小さなグループです。

ちなみに前回「女性が作る平和イン久喜」と題し「ジャスティス」のお二人と、玉城まさゆきさん（コザ市出身のシンガーソングライター）による平和を主題にした歌声、そして弁護士であり参議院議員福島みずほさんの講演（国の法的自衛権を巡る問

題や課題）を企画しました。初めて公民館の会議室を利用し、多くの方に呼びかける活動をしました。

お知らせ

「女性差別撤廃条約を通して見る日本」

委員会のコメントは私たちを移す鏡

日時 二月十五日（日曜日）

一四時から二時間くらい

場所 カフェたいむ（久喜駅西口）

会費 コーヒーとケーキ代五百円

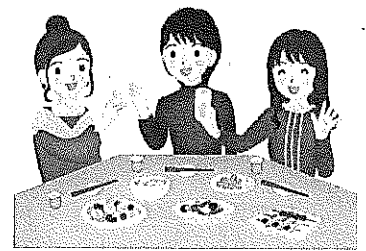
講師 倉持 睦子さん



グループ・フォー代表
女と男いきいきネット久喜会長

一九八五年、『男女雇用機会均等法』が制定。

この頃は、私はよく労働省（現厚生労働省）



前で、私たちの求める「男女雇用平等法」を求めて座り込みをしました。成立した法律は不十分なものでしたが、「ここで法律を成立させなければ、女子差別撤廃条約は批准できない」と政府側に押し切られました。

その後、「保護か平等か」という議論の果てに、女性に制限されていた深夜業や炭鉱の坑内労働が解禁されました。また、募集、採用、定年、退職、解雇などの雇用の機会と待遇の全般にわたり法律で規制するとしましたが、現状はどうでしょうか。育児休業の男女の取得率や女性の昇任や昇格、男女の性別役割分担など問題は山積みです。

グループ・フォー代表の倉持睦子さんをお迎えして、歴史に学びながら現状と課題について考えてみましょう！、主催 オリーブの会（関口）

0280(62)3231

【編集後記】

先日、埼玉県のホテルに「平成20年度 市町村における男女共同参画の推進に関する施策の推進状況調査結果」が載っていた。その中で改めて思ったのは市町村長、副市町村長がゼロ！であること。自治会長は、4.1%。審議会等の女性登用率も、まだまだ。自治体での管理職相当職以上の職員人数も、ちっとも伸びてない。一方、「配偶者等からの暴力」に関わる相談件数は右 上がり。女と男いきいきネットの役割は、これからも大きいことを実感した。

【発行】

女と男いきいきネットワーク久喜代表 倉持睦子(22)4545